

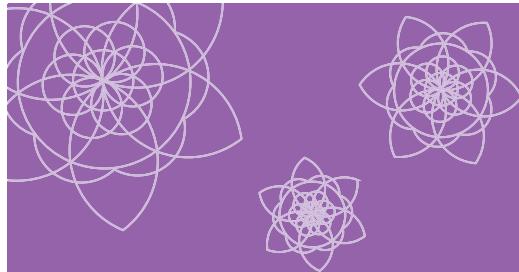
# Living the Lotus



2  
2021

VOL. 185

Buddhism in Everyday Life



立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙伎脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家佛教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鑑会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus  
2021年2月号 (Vol.185)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1  
普門メディアセンター3F

Tel:03-5341-1124

Fax:03-5341-1224

E-mail:living.the.lotus.rk-international  
@kosei-kai.or.jp

編集責任者：赤川恵一

編集チーフ：長田健祐

校閲者：竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ：国際伝道部スタッフ



開祖隨感

## 求める心

私は子どものころから、人さまが難儀をしているのを黙って見て  
いられない性分でした。

祖父や父の生き方を見ていて、自然にそれが身についてしまったのだと思うのですが、それで青年時代になると、見るもの聞くこと、「あれもこれも人助けに役立ちそうだ」と、自分のものにしたくなるのです。そうして、ついに法華経に出遇えたのでした。

経典に、「見聞触知、けんもんそくち 皆菩提に近づく」という言葉があります。

ただ漠然と見聞きしているというのではなく、目的をしっかりと定めて毎日を生きる。真剣に求める。すると、その答えが読む本の中に、会う人の言葉に、また、出合う一つ一つのことに、次々と見つかるのです。

それはたとえば、磁石が砂の中から砂鉄をそっくり吸いつけてしまうのに似ているのではないでしょうか。反対に、求めることのない人は、宝の山の中に埋まっていても、なにひとつ身につかないのです。

(『開祖隨感』10, P. 22-23)

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

## 会長法話



# 人さまに喜ばれる人に

立正佼成会会长 庭野日鑛

## 「神力」とは何か

じんち じんづうりき じんりき  
人知を超えた不思議な力のことを、よく「神通力」とか「神力」といいますが、私たちは、それを「自分には身につけられない特別な能力だ」と思っています。

たしかに、仏教の經典にも「あらゆるものごとを見とおす」とか「全身の毛穴から美しい光を放って世を照らす」といった神秘的なことが神力として説かれますから、そのように思うのもうなづけます。しかし、私たちにできないことを、<sup>しゃくそん</sup>釈尊は説かれないとと思うのです。だとすれば、經典にある神通力とか神力とは何を意味するのでしょうか。

私は、人間にとって最大の神通力は「心」をもっていること、と受けとめています。言葉を換えれば、人間の「心」の力やはたらきが神通力だということです。考えてみると、心があるからこそ、私たちは人の気持ちがわかります。人が何を求めているのかも理解できます。もちろん、釈尊が悟られた真理を認識できるのも、心があるからです。

開祖さまは「大乗の教えによって真の意味の智慧をもつようになれば、それで神通力を得たのと同然」といっていますから、特別な能力が神通力というよりも、人を思いやったりする日ごろの心のはたらきが、神力といえるほどの力を發揮するということです。たとえば、仏の教えを知り、寄り添ってくれる仲間の支えで「生きながらにして生まれ変わった」という人が本会にはたくさんいますが、ときに不思議としかいいようのない結果や心の転換が起きるのも、私たちの心があらゆる可能性に満ちているからです。

殺人鬼のアングリマーラ(鷲掘魔)が、釈尊のいたわりと導きによってすぐれた  
仏弟子となった故事も、その証の一つでしょう。「神力」とは、一つには人を思う  
「まごころ」であり、そのはたらきが生む力をいいます。

## 人に喜ばれることが「うれしい」

「神力」について、いま述べたような話をしていたとき、「校成会は、まごころとい  
う『神力』を発揮する人でいっぱいですね」といった人がいましたが、ほんとうにそ  
のとおりだと思います。なぜなら、法華経の「如來神力品」によると、神力は人びと  
を喜ばせるためにあらわすものだからです。「衆生を悦ばしめんが為ための故に  
無量の神力を現じたもう」とありますから、私たちが人に明るく、やさしく、あたたか  
く接することを大切にして、人さまのために心をくだき、思いやりを実践に移すこと  
で少しでも喜んでいただけたら、それが神力の発揮にほかならないのです。

ところで、アンパンマンなどの漫画でおなじみのやなせたかしさんが、「いちば  
んの／よろこびは／ほかのひとを／よろこばせること」(『もうひとつのアンパンマ  
ン物語』PHP研究所刊)と記しています。そのうえで、人は人を喜ばせることがい  
ちばんうれしい、人生で最大の楽しみは人を喜ばせることといわれ、漫画家にな  
ったのも「全力をつくしてひとをよろこばせたかった」からと綴っておられるので  
す。それを読んだとき、私は「この方は漫画をとおして人を喜ばせる菩薩さまなの  
だ」と感じ入ると同時に、人に喜ばれる生き方を心がけていれば、だれもが自分  
のいる場所で菩薩になれることを教えていただかと思いました。

以前、たとえ寝たきりの人でも、その笑顔や感謝の言葉で人を喜ばせることができ  
るとお話ししましたが、それも大きな神力であり、菩薩のはたらきです。

そうして法を身で説く人は、「無量の菩薩をして 畢竟して一乗に住せしめん」と「如來神力品」は結んでいます。私たちは、みんなが仲よく生きる世界を築く一  
人ひとりなのです。いつでもまごころをもって、人さまに喜ばれることを喜びとする  
人でいっぱいの本会でありたいと思います。

(『校成』2021年2月号)

# Spiritual Journey

## 菩薩行こそ本質的な救われの道

国際伝道部長  
赤川惠一

この体験説法は、2020年12月15日に大聖堂で行なわれた釈迦牟尼仏ご命日式典で発表されたものです。

皆さま、宜しくお願ひします。

私は昭和35年、秋田県横手市の赤川家に、姉二人と私の三人姉弟の長男として産んでいただきました。佼成会の信仰は三代目です。お陰さまで今年還暦を迎えることができました。人生節目の年にお説法のお手配を頂戴できたことは、「信仰一家に生まれ、佼成会のご縁に育てていただいたことに感謝し、菩薩としての決定を固めて布教に邁進なさい」との、仏さまの深いお慈悲によるものと受け止めさせていただきました。

顧みますと、私を信仰の道へ導いてくれたのは父の姿でした。平成17年10月2日号の佼成新聞に掲載された「一乗説法」と題する記事の中で、記者の取材を受けた父は、次のように答えていました。

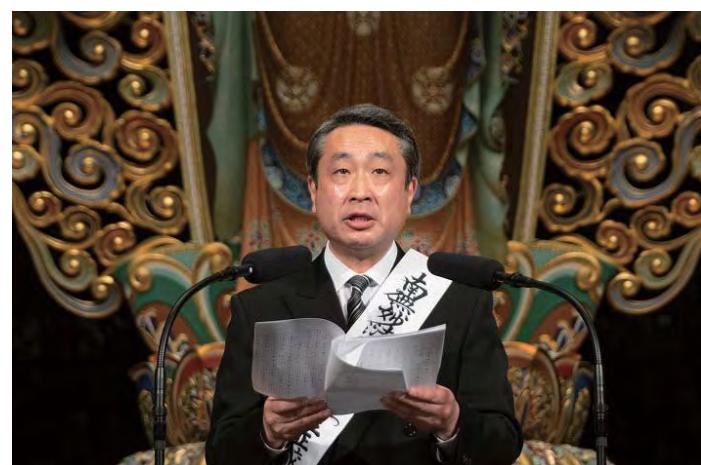
「昭和63年12月、長男の卒林式に出席させて頂きました。法輪閣で行われた祝賀会の席上、開祖さまにお酒をお注ぎすると、開祖さまは『息子さんをお預かりします。息子さんは真剣にご法を求めている青年ですよ』と、これから本部職員として奉職する長男のことをお話してくださいました。帰宅後、開祖さまのお言葉をかみしめる中で、私はご法の学びを深めていくとの決意をしました。酒をあおっては暴れ、家族に多大な迷惑を掛けってきた自身を内省し、以降、酒を断つことが出来たのです。長男を通し、自らの姿勢を省みる機会を与えてくださった開祖さまに、今でも感謝の心で一杯です」

平成24年、享年八十歳で他界した父を偲びつつ記事を読み直してみると、私が奉職のお手配をいた

だいたい昭和63年頃に、私たち家族は因縁を切り替える時期を迎えていたことがわかります。

信仰初代の祖父は、横手教会初代事務長の大役を務めた信心に篤い人でした。母は養女として私の祖父母に育てられ、成人後に養子として迎えられた父と結婚しました。父は工務店を営み、指物師として大工業を生業していました。責任感の強い父は、時に養父との間に軋轢を生じ、その度に酒に任せて鬱積した感情を爆発させておりました。事情の分からぬ中学・高校の頃の私には、その姿は始末に負えない情けない父としか見えませんでした。しかし、図らずもこのご縁が私にとってご法に救いを求める強い動機をもたらしてくれた仏縁となっていました。

立正佼成会の教えは、人を救う教え、家庭成仏の教えと信じていた十代の私には、自分の家の穏やかとは言えぬピリピリした日常に納得ができず、なぜ佼成会の信仰をしていても苦しみが絶えないのだろう、いつも



大聖堂で説法する赤川部長

で母の苦労は続くのだろうと思い悩みました。そして、開祖さまはこんな時どう救ってくださるのだろうかと考え、「佼成会の教えを学ぶことで、わが家が普通の家に戻るものなら一日も早く戻したい」と祈る思いが日に日に強くなっていました。

こうして家族に幸せを取り戻すための手探りが始まりました。それには東京のご本部に行って開祖さまのお姿に直接触れるのが一番だと考えた私は、姉が参加する団参に加えていただくことにしました。昭和53年秋、全国からの参拝者で溢れた大聖堂の今まさに私が立っているこの場所から、開祖さまはお話をされました。そのお姿を遠くから拝するだけで、気持ちが穏やかになってくるのを感じました。

その日、帰りがけに不思議なご縁をいただきました。団参の参加者は、帰途に就く前に法輪閣をご案内いただけるという予定外の計らいを頂戴したのです。大ホールに入り、千手観音さまの前に立ちますと、あまりの神々しさに私はまるで稻妻にでも打たれたかのように全身が固まり、その場に立ち竦んでしまいました。程なくして誰かが私の心に直接語りかけてくる声が聞こえてきました。「今のあなたの悩みは少しも心配はいらないのだよ。家の心配ごとは大丈夫だから、私の側にいらっしゃい。あなたのことを大事に思っているからね」それは温かく、心の奥まで染み渡るような声でした。「何ですか。どなたですか」と問い合わせながら、私は無上の悦びと涙で心が満たされるのを感じました。何が起きているのかわからず、頭の中は混乱しておりましたが、語りかけてくる言葉の力に圧倒されて、「分かりました。お受けします」と心の中で返事をしておりました。

わずか数分の出来事でしたが、この不思議な体験は、その後の私の佼成会人生を決定づけるものとなりま

した。大学卒業後、私は故郷の県立高校で二年間教職に就いたあと、学林で学ぶ道を選びました。その後「一乗説法」に紹介されていたとおり、父は開祖さまとの出会いを境にお酒を断ち、父の飲酒が原因で長い間苦しんできた我が家に、再び暖かい光が差し込んできたのでした。

後年、この不思議な体験を開祖さまに聞いていただく機会に恵まれました。開祖さまは満面の笑顔で、「それは声聞の修行と言ってね。誰もが出来るわけじゃない。いい体験をされたね」と優しく包み込むようにお話してくださいました。私は開祖さまがお使いになった「声聞の修行」という言葉が気になり、その意味を繰り返し考えました。佼成会では「まず人さま」という自利利他の精神で菩薩行を行っていくところに救いの核心があると教えてもらっています。父の飲酒による家族の苦しみと不思議な体験にばかり捉われて心が顛倒している私を、開祖さまはそのまま温かく包み込んでくださいました。そのうえで開祖さまは、私に「苦の解決は自分の救いだけを求める声聞の修行ではなく、人さまを思う慈悲の菩薩行の中にある」ことに気づかせたかったのだと、時を経てようやく開祖さまの使われた言葉の意味とお心を理解することができました。

また、時は少し遡りますが、学林入林の直前にも、これでもかと私の性根にお試しが掛かりました。勤務先の高校が火災で焼失したり、親しかった義兄が不慮の死を遂げたり、家の高額ローンの問題が明らかになったりと、短期間に次々と心が打ち砕かれるような出来事が起きたのです。学林への入林がお手配ではなかったように思えて、入林の辞退を考え始めていた矢先のことです。職場に林健二教会長さんから電話が入りました。ご本部からお呼びが掛かっているとの内容でした。後

# Spiritual Journey

日指定された場所に出かけてみると、そこには当時の馬場一浩理事さんと大滝雅子理事さんが待っておられました。お二人は私に、この世に人間として生まれ、逢い難いご法のご縁、開祖さまとのご縁に出会えたことの意義を、法華経の法師品に寄せて教えてください、私の萎れかけた心に信を入れてくださいました。この有り難い計らいは、私を学林に送り出してくださった林教会長さんの真剣な祈りと篤いお慈悲があって実現したことでした。何としてもわが家を苦境から救おうとしてくださっていた教會長さんの真剣なお心を、私は感謝で受け止めさせていただきました。

卒林後は、渉外分野のお役に就かせていただき、開祖さまの築かれた平和の道を辿る貴重な経験を積ませていただきました。そして、平成27年12月、目黒教會長のお役を拝命することになりました。それまで三十年近くにわたり、宗教協力の分野でお役をいただいてきた私にとって、布教最前線のお役は、重責への不安を感じながらのスタートとなりました。

教會長として目黒教會に着任した日、私は東京西支教区長をされていた千葉和男教會長さんにご案内いただき、教會長就任式に臨みました。道場に案内されると、法座席におられた信者さんの輝くような笑顔が目に飛び込んで来て、それまでの不安が一気に吹き飛びました。これから皆さんとの修行が始まるのだと思い、勇気が湧いてきました。

数日後のある朝、早めに教会に到着した私は、玄関のドアが開かず、玄関先で立ち尽くしていました。自動ドアの電源スイッチがまだ入っていないなかっただけのことでしたが、玄関ドアが開かなかつことで、私はある気づきをいただくことができました。それは、世の中には誰かに助けを求めて受け入れてもらえない人や、ご法との

ご縁が薄いために苦に振り回され続けている人が大勢おられるということです。この着任直後の出来事は、私に目黒教會の門は広く開かれた「普門」でありたいとの目標を持たせてくれました。目黒教會はすでに六十一年間にわたり山崎隆世初代教會長さんはじめ、歴代の教會長さんや教會役員の皆さんのご尽力の積み重ねのお陰さまで、人材の育成・布教の展開はもとより、地元の宗教者との協力で、定例の「朝粥会」「宗教者祈りの集会」「交通殉難者慰靈」「自殺防止の会」の活動が根付いていました。

就任五年目の今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、悩ましくも得難い一年となりました。会長先生から年頭に頂戴した「即是道場の精神でつね日ごろをたずねる」ことが毎日の精進の課題となりました。それまで「当たり前」として見え難かった部分が明らかになり、多くの人・物・思いやりに支えられて過ごしてこられたことへの感謝の気づきをいただきました。

コロナ後の新たな日常に適応していくためには、人も教會も柔軟さが求められることを学びました。目黒教會ではSNSを駆使して、直接触れ合えなくなった信者さん同士の励まし合いや功德の交換を行ない、対外的には医療従事者など社会生活に欠かせない重要な仕事を担っているエッセンシャルワーカーを応援する「命の旗」を制作し、教會前に掲げました。

また、コロナ禍で行き場を無した方々の思いを聴かせていただき、「心の電話相談」を、壯年部長さんをはじめ教會の役員の皆さんと相談して新設させていただき、さらには、都市型の犯罪や幼児虐待などの痛ましい事件が依然絶えない包括地域の現状を前に、犠牲となられた尊い命への慰靈供養をさせていただきました。その中で、事件を未然に防ぐために「苦に分け入った手

# Spiritual Journey

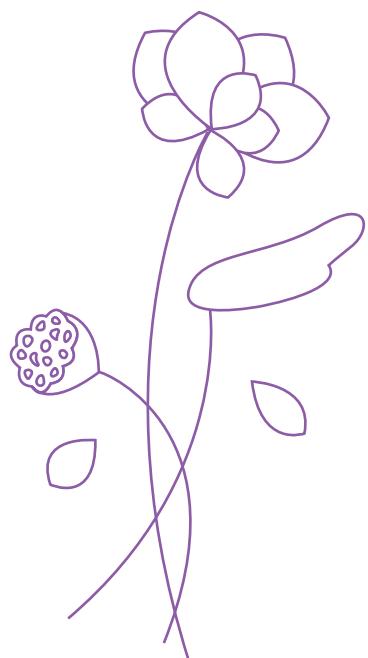
どり・導きの実践に取り組むことなど、課題も明らかになりました。

今月から、国際伝道部でのお役を拝命致しました。目黒教会の皆さんとは感染予防のアクリル板越しでのお別れになってしましましたが、布教現場の経験を通していただいた学びを生涯の宝物としながら、新たに頂戴したポストにベストを尽くしていくことが、これまでのご恩に報いることと固く信じております。そして、亡き父の姿をとおして気づかせていただいた「本質的な救われ・苦の解決は、菩薩行に挺身する実践の中にこそある」ことを心に刻み、今後の精進の糧とすることをお誓いし、本日の説法の結びと致します。

皆さま、ご清聴誠に有り難うございました。



ウランバートル支部を訪問する赤川部長  
(当時・目黒教長)



# 法華三部経 各品のあらましと要点

庭野 日敬



## 妙法蓮華経 嘱累品第二十二

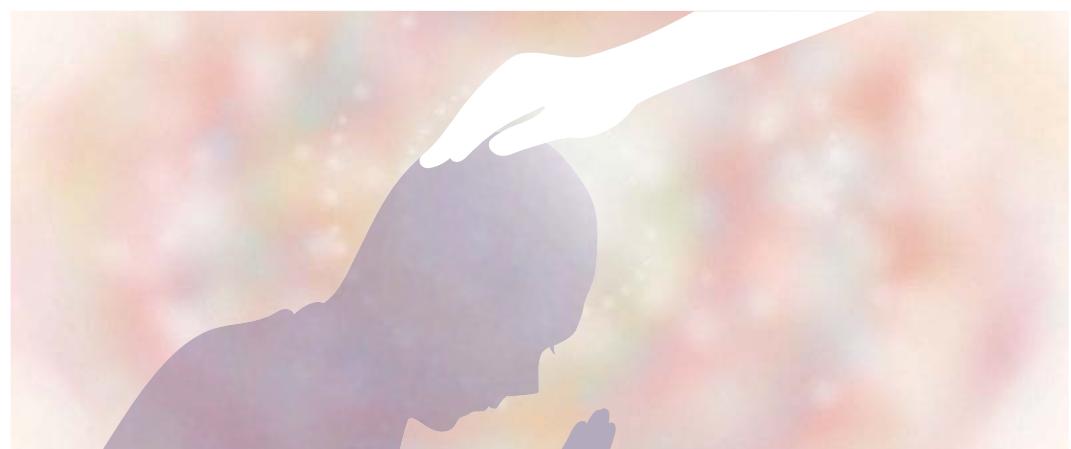
### ち　ぐう　なん　じ 値遇への感激と難事にいどむ喜び

嘱累といふのは〈面倒を頼む、委嘱する〉ということです。前の《如來神力品第二十一》の最後に説明した付属ということと同じです。この品は、お釈迦さまが、すべての菩薩の頭をおなでになって、「この尊い悟りを後世に伝えるという一大事を、みんなに託したいのです。どうか、一心にこの法を説きひろめて、広くあらゆる衆生の利益を増進させてください」とお頼みになる章です。ですから、このことを古来〈総付属〉と呼んでいます。

もちろん、菩薩たちはこのお言葉をうけたまわって、この上ない感激をおぼえ、この難事に立ち向かうことに喜びを感じ、固い決意を表明します。この〈値遇に対する感激〉と〈難事に立ち向かう喜び〉を、われわれ現代の菩薩もじっくりと心にかみしめなければなりません。それがこの品の最大の要点です。

### りょうじゅせん 再び靈鷲山へ

この品で、法華経の説法に大きな一段落がついたのです。どういう一段落かといいますと、仏さまの寿命が無量であることと、そのことを確信することの功德を説くいちばん重要な部分がここで完結し、法華経のドラマの〈理想(虚空)の場〉が幕を閉じ、舞台は再び靈鷲山に移り、〈現実(靈鷲山)の場〉となるわけです。





## 妙法蓮華經 藥王菩薩本事品第二十三

### 菩薩は衆生の手本

これまでの説法で、〈真理〉はよく分かりました。いよいよこれから、その〈実践〉に移らなければなりません。ところが、高遠な真理を日常の行為のうえにどう生かせばいいのか、ほんぶつ凡夫にとってはなかなか見当がつきません。その問題を解決するには、完全円満なほとけ〈仏〉の境地の一歩手前にあって、ある一つの美しい徳、ある一つの尊い行為を代表する〈菩薩〉を見習うのが、先ずもって順当な道だといわなければならないのです。

それで、この品以降の説法には、主としてそれが述べられているのです。衆生に、より身近な手本を示すことによって、発奮をうながされるわけです。

### 献身的な実践が最大の供養

さて、この品に登場する薬王菩薩は、人間の病気を治すことを誓願した菩薩ですが、ここではその前世の身の物語(本事)により〈献身(自己犠牲)的)な行為によって仏および仏法を供養する)という徳の典型としてあげられているのです。

薬王菩薩の前世の身は一切衆生憲見菩薩という菩薩で、日月淨明徳如来という仏さまに仕えて法華経の教えを聞き、非常に長い年月のあいだ修行した結果高い境地に達することができました。そこで、日月淨明徳如来と法華経の教えを供養(帰依と感謝の真心をあらわす行為)したいと思い、神力をもって天から花や香を降らせて供養したのですが、しかし、そういうことよりも、身をもってする供養がより大切だと考え、さまざまな香油を飲み、身に塗ったうえで、自分の身体に火をつけて燃やしました。その火は千二百年のあいだ燃え続け、その光は世界中を照らしました。

一切衆生憲見菩薩はこの供養をなしおわって、寿命が尽きたのですが、その後また日月淨明徳如来の国土に、国王の子として生まれ変わりました。そして、生まれるとすぐ如来を礼拝しにまいりました。すると、如来は、「わたしは今夜半に入滅しますが、これから先、仏法を世にひろめていくことを、そなたに頼みます」とおおせられ、そのとおりに入滅してしまわれました。

一切衆生憲見菩薩は、泣く泣く仏身を火葬にし、その仏舍利を八万四千の瓶に収めて國中にまつり、それぞれ立派な塔を建てて供養しました。それでも供養が足りないと思った菩薩は、偉大な福德に輝く自分の両腕に火をつけて燃やし





ました。その光明に照らされて、多くの人が尊い発心をしたのですが、七万二千年たってそれが燃え尽き、菩薩の両腕がなくなったのを見て、人びとは自分たちの大変な導師の姿を歎き悲しました。

それを見た菩薩は、「わたしの両の腕はなくなったけれど、その代わり永遠不滅の身を得ることができたと信じています」といいました。その瞬間に、たちまち両腕はもとどおりになってしまいました。

この物語で教えられている要旨は、

- 一、人間にとって自己犠牲ほど高貴な精神はない。
- 二、実践こそが教えに対する最高の供養である。

という二点に要約することができましょう。

## じゅうゆしょうたん こうせん る ふ 十諭称歎と広宣流布

この一切衆生懲見菩薩の物語の後、法華經のすばらしさを十の譬えで説かれる、いわゆる〈十諭称歎〉がはじまります。それに続いてお釈迦さまは、法華經の教えを実践するものの功徳をさまざまに説いてくださいます。

このようにお釈迦さまは、まずわれわれの心を法華經に開いてくださり、そして、いよいよ〈我が滅度の後、後の五百歳の中、閻浮提に広宣流布して、断絶して悪魔・魔民・諸天・龍・夜叉・鳩槃茶等に其の便を得せしむることなかれ〉と、末法の世こそ、法華經の教えを説きひろめる時であることを、力強く宣せられるわけあります。

〈末法〉、それはまさしく現代であります。この末法に生きるわれわれにこそ、最勝の教えである法華經を〈広宣流布〉する重大な使命があるのです。つまりここで、お釈迦さまから直接われわれに、その使命が与えられたというわけです。

(庭野日敬著『法華三部經 各品のあらましと要点』

校成出版社, 2016年 [初版 1991年], P.198–203)



# Director's Column

## すべては仏さまからのメッセージ

国際伝道部長

赤川惠一

神通力という言葉の響きは、私たちに様々な想像の世界をもたらしてくれます。しかし、デジタル社会で情報に押し流されそうになりながら、多岐亡羊な毎日を過ごしている現代人の私たちにとって、日常の瞬間に神秘性を感じ取る感性を会得していくことは一見難しそうにも思えます。

お経にある「常住此説法」という言葉は、この世は「すべてを生かそう」と願われる仏さまの慈悲のメッセージで満ちていることを教えてくれます。そして、仏さまのメッセージを受け止めるいわば「受信器」が、私たちの「こころ」になります。

すると、神通力とは「神仏が衆生を慈しむ心」に通ずる無我の心理状態が生む不可思議な力——我執を排して真心で人さまに心寄せるとときに計らわれる想定外のご守護の世界と言えるのではないでしょうか。

願わくは私たちの祈りが神仏に通ずる信心でありますように。今月のご法話でお示しいただいたとおり、「法を身で説く人」として、みんなが仲良く生きる「大調和の世界」の構築に貢献してまいりましょう。合掌

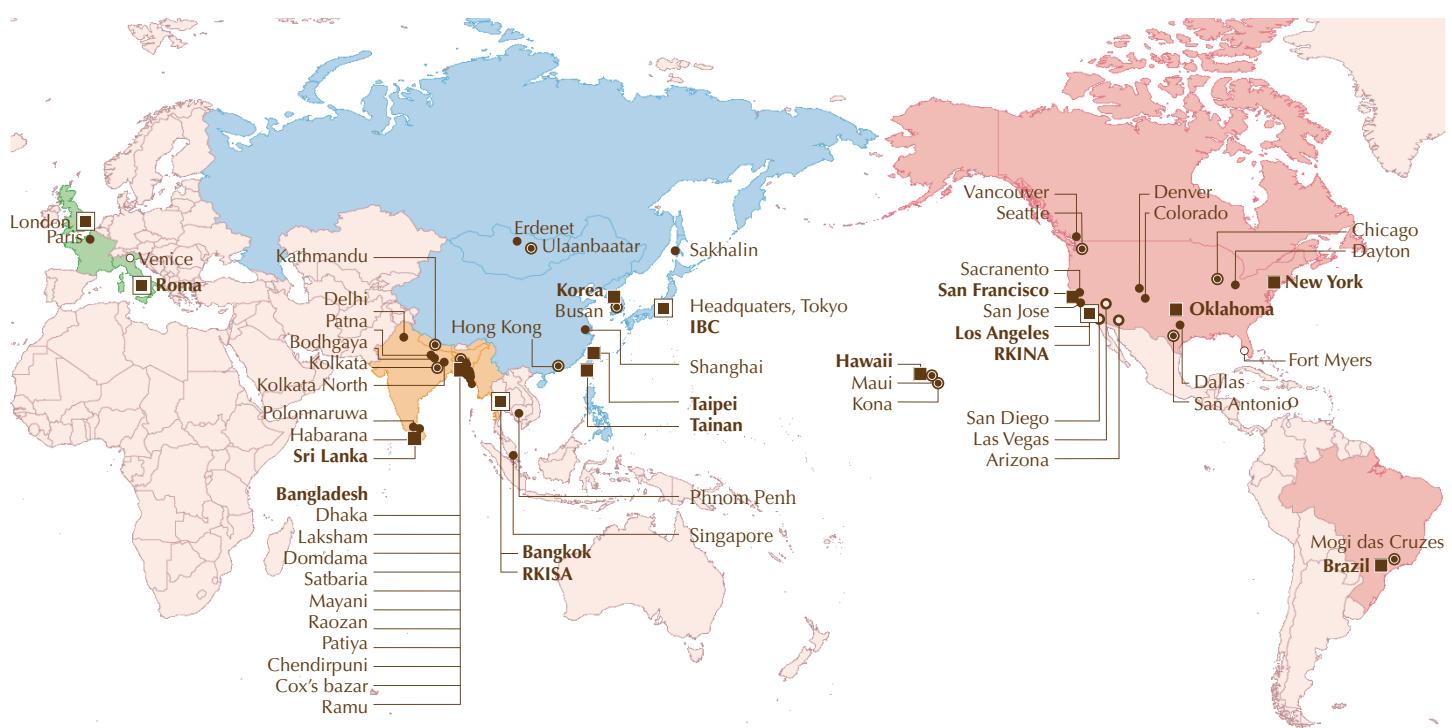


Living the Lotus では、皆さんのご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

# Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



## Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA  
TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633  
Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

## Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA  
TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

## Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA  
TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA  
POBox 33636, CA 90033, USA  
TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567  
Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas**

## Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA  
POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA  
TEL: 1-650-359-6951 Email: [info@rksf.org](mailto:info@rksf.org) URL: <http://www.rksf.org>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

**Rissho Kosei-kai of Sacramento**  
**Rissho Kosei-kai of San Jose**

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA  
TEL: 1-212-867-5677 Email: [rkn39@gmail.com](mailto:rkn39@gmail.com) URL: <http://rk-ny.org>

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA  
TEL: 1-773-842-5654  
Email: [murakami4838@aol.com](mailto:murakami4838@aol.com) URL: <http://rkchi.org>

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA  
POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA  
TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303  
Email: [rkokdc@gmail.com](mailto:rkokdc@gmail.com) URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809 Denver, CO 80204, USA  
TEL: 1-303-446-0792

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA  
URL: <http://www.rkina-dayton.com>

## The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA  
TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567  
Email: [dharmasa@rksabuddhistcenter.org](mailto:dharmasa@rksabuddhistcenter.org)  
URL: <http://rksabuddhistcenter.org>

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA  
(Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA  
TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745  
Email: [dharmasanantonio@gmail.com](mailto:dharmasanantonio@gmail.com)  
URL: <http://www.rkina.org/sanantonio.html>

## Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA  
TEL: 1-253-945-0024 Email: [rkseattlewashington@gmail.com](mailto:rkseattlewashington@gmail.com)  
URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

## Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

## Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefano 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil  
TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377  
Email: [risho@rkk.org.br](mailto:risho@rkk.org.br) URL: <http://www.rkk.org.br>

**Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes**

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP, CEP 08730-000, Brasil

**在家佛教韓國立正佼成會**

〒 04420 大韓民国 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3  
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea  
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

**在家佛教韓國立正佼成會釜山支部**

〒 48460 大韓民国釜山廣域市南區水營路 174, 3F  
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

**社團法人在家佛教立正佼成會**

台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓  
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongjheng District, Taipei City 100, Taiwan  
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

**臺南市在家佛教立正佼成會**

台灣台南市崇明 23 街 45 號  
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan  
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488  
Email: koseikaitainan@gmail.com

**Rissho Kosei-kai South Asia Division**

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Kathmandu**

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

**Rissho Kosei-kai of Kolkata**

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata North**

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,  
West Bengal, India

**Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center**

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,  
Bihar, India

**Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center**

Please contact Rissho Kosei-kai of Kolkata

**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,  
New Delhi 110060, India

**Rissho Kosei-kai of Singapore**

Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,  
Phnom Penh, Cambodia

**RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia**

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Bangkok**

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

**Rissho Kosei Dhamma Foundation**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka  
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

**Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**

Please contact Rissho Kosei Dhamma Foundation

**Rissho Kosei-kai Bangladesh**

165/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh  
TEL/FAX: 880-31-626575

**Rissho Kosei-kai Mayani**

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Damdama**

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Satbaria**

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Chendhirkuni**

Village: Chendhirkuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,  
Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Raozan**

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Laksham**

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Dhaka**

408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Cox's Bazar**

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Patiya****Rissho Kosei-kai Ramu****Rissho Kosei-kai Aburkhiln****Buddiyskiy khram "Lotos"**

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia  
TEL: 7-4242-77-05-14

**Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai****Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar**

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia  
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia  
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

**Rissho Kosei-kai of Erdenet**

Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia  
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Rome

**Rissho Kosei-kai of Paris****Rissho Kosei-kai of Venezia****Rissho Kosei-kai of the UK**

29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK  
TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: https://www.rkuk.org  
Facebook: https://www.facebook.com/rkuk.official  
Twitter: https://twitter.com/rkuk\_official  
Instagram: https://www.instagram.com/rkuk\_official

**Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)**

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F  
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan  
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: http://www.ibc-rk.org